

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 76
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)	予算科目			決算額(円)	担当課	
	総合型地域スポーツクラブ 推進事業	会計	款	項	目	2,741,261	文化・スポーツ 振興室
		一般	10	5	1		
	事業の概要						
	生涯スポーツ社会の実現のため、全ての小学校区での総合型地域スポーツクラブの設立に向けた支援を行います。						

令和2年度の取組						
D (取組)	指標	総合型地域スポーツクラブの設立数				単位 小学校区
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1 2
	5(平成26年度)	目標	6	7	8	9 10
		実績	6	7	7	8 8
	・創設活動1年目である長岡第八小学校総合型地域スポーツクラブ(8スルくらぶ)に150万円を活動支援として補助し、クラブの運営基盤づくりに取り組みました。 ・地域スポーツの振興を図るため、コロナ禍でも開催できるスポーツ行事の実施を各校区に委託しました。 ・総合型未設立地区に対しては、長岡京市総合型地域スポーツクラブ協議会と連携し、設立に向けての働きかけを実施しました。				市民スポーツフェスティバル(五小)	



施策の「5年後の目標」に対する評価 令和2年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		市民スポーツ実施率		年代別でみると、20歳代～40歳代の運動実施率が低く、若年層や働き盛り世代に対する運動・スポーツの機会や場の提供が求められます。		203
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	・ 現在8つの校区で総合型地域スポーツクラブが設立され校区住民のスポーツ実施の機会拡大への下地が整いつつあります。 ・ 令和2年度に関しては新型コロナウイルス感染症拡大により事業開催が出来なくなった校区がありました。		
	課題等	・ コロナ禍によりスポーツ推進の機会が激減したため、総合型の事業が実施されず地域スポーツの振興につなげることが困難となりました。 ・ コロナ禍でも開催が出来る事業を各校区で推進出来るよう図っていく必要があります。 ・ 未設立校区では総合型設立に向けた関心が他校区とは異なる部分もあるため、設立への実施意欲を高めるための活動が必要です。				

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1:計画通りに進めることが適当 対応策等 ・総合型地域スポーツクラブの未設立校区には、引き続き(公財)長岡京市スポーツ協会と協力しながら、「核となる人や団体」に向けて啓発を行い、その必要性の理解を求めます。 ・新しく設立された総合型地域スポーツクラブに対しては、活動拠点の整備や必要備品の購入等の調整を行います。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 77
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課
	スポーツ交流推進事業	会計	款	項	目	4,804,547	文化・スポーツ 振興室
		一般	10	5	1		
		事業の概要					
	市民が地域で運動やスポーツに親しむ全市的なイベントを開催します。 また、小中学校の体育施設を開放し、運動やスポーツのできる環境の確保に努めます。						

令和2年度の取組						
D (取組)	指標	学校開放利用件数				単位 件
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1 2
	9,805 (平成26年度)	目標	9,800	9,800	9,800	9,800
		実績	9,283	9,752	9,627	9,212 5,242
	・学校開放事業及び夜間照明施設利用事業により、小中学校施設を開放し、市民がスポーツする環境を提供しました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、長岡京市市民大運動会は中止となりました。 ・コロナ禍において安全に市民が運動・スポーツに親しむ機会を提供するため、対策を徹底し、市民スポーツフェスティバルを開催しました。 ・西山公園体育館や長岡第四・長岡第五・長岡第八小学校区で幼児を対象とした運動遊びの取り組み（幼児元気アップ推進事業）を実施しました。 ・地域スポーツの振興を図るため、スポーツに親しむ行事等の実施を各校区に委託しました。				市民スポーツフェスティバル (西山公園体育館) 	

施策の「5年後の目標」に対する評価						
令和2年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		市民スポーツ実施率		年代別でみると、20歳代～40歳代の運動実施率が低く、若年層や働き盛り世代に対する運動・スポーツの機会や場の提供が求められます。		203
	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	・新型コロナウイルス感染症の影響により、年間の半分程度が施設休止となりましたが、施設が使用可能な期間については、例年と同程度の利用状況になりました。 ・地域スポーツ振興事業では、各校区で感染対策を行いながら、開催可能な事業は実施しました。 ・市民スポーツフェスティバルでも、乙訓高校と連携してフェンシング教室を実施するほか、各校区で総合型スポーツフェスティバルを開催し、スポーツが出来る場を提供しました。		
	課題等	・新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツが出来る環境が少なくなっています。 ・コロナ禍が収まり、社会活動が活発になる際に、多くの市民がスポーツに触れることが出来る環境を作ることが必要になります。				

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1: 計画通りに進めることが適当 対応策等 ・新型コロナウイルス感染症への対応として、新しい生活様式に準じた中で、実施可能な市民スポーツの推進事業を検討します。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 78
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	若葉カップ全国小学生 バドミントン大会支援事業		会計	款	項	目	794,050	文化・スポーツ 振興室
			一般	10	5	1		
	事業の概要							
	全国の小学生にバドミントン競技をする機会を広く提供し、交流と友情を深めるために、若葉カップ全国小学生バドミントン大会の実施を支援します。 また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、世界各国の子どもたちとの交流と国際理解を深め、子どもたちの国際社会での活躍を願いバドミントン競技によるスポーツ交流事業を展開します。							

令和2年度の取組						
D (取組)	指標	若葉カップ開催支援の継続				単位 ー
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1 2
	若葉カップ開催 (平成26年度)	目標	若葉カップ開催支援	若葉カップ開催支援	若葉カップ開催支援	若葉カップ開催支援
		実績	若葉カップ開催	若葉カップ開催	若葉カップ開催	若葉カップ開催中止
	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第36回若葉カップ全国小学生バドミントン大会及び未来への種まきプロジェクトは中止となりました。 ・大会中止に伴い、「若葉カップ」を通じて応援するメッセージとサブタイトルを募集しました。優秀作品は次年度以降の大会プログラム等に掲載予定です。					

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C（評価）	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	
		—		—	
	達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	達成状況	・第36回若葉カップ全国小学生バドミントン大会は中止となりましたが、応援メッセージ・サブタイトルを募集し、「バドミントンのまち」長岡京市を全国に発信しました。 ・サブタイトルは全国より21件の応募がありました。 最優秀賞作品：「1人じゃない！鼓動が勇気に変わる夏」	
	課題等	・小学生バドミントンの甲子園として認知されつつあります。より一層、市民や全国に認知されるように取り組む必要があります。 ・全国規模の大会のため、大会開催可否を慎重に協議、決定し、開催する場合は、大会運営方法を見直すなど、感染対策を徹底し、安心・安全を最優先に取り組んでいく必要があります。			

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1:計画通りに進めることが適当 対応策等 ・コロナ禍のため、大会開催可否は慎重に決定しなければなりませんが、若葉カップを目指している全国の子どもたちのためにも、「新たなスポーツ様式」による大会の実施について、「感染防止対策方針」を作成し、それに沿って、実行委員会等で慎重に協議検討を行い、関係者やボランティア等のご協力をいただきながら安心・安全を最優先に実施できるよう取り組みます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 79
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目				決算額(円)	担当課
	スポーツ活動推進・支援事業	会計	款	項	目	44,905,204	文化・スポーツ 振興室	
		一般	10	5	1			
	事業の概要							
スポーツ振興を図るため、長岡京市スポーツ協会の活動へ支援を行います。								

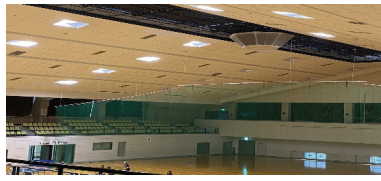
令和2年度の取組						
D (取組)	指標	府民総体予選会参加市民数				単位 人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1 2
	1,146 (平成26年度)	目標	1,180	1,210	1,240	1,270 1,300
		実績	1,067	1,160	991	1,039 653
	・市内スポーツ団体を統括する団体でもあり、行政の役割を補完する団体でもある(公財)長岡京市スポーツ協会の組織の基盤強化、加盟団体の育成支援を図るために補助金を交付しました。 ・コロナ禍により、府民総体は3競技を除いて中止となりました。 ・西山公園体育館で幼児を対象とした運動遊びの実践として「幼児元気アップ推進事業」を実施しました。 ・「幼児元気アップ推進事業」のモデル校区(長四小、長五小、長八小)において、総合型地域スポーツクラブと校区スポーツ推進委員が連携し取り組みました。				幼児元気アップ事業の様子 	

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド
		—		—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	・コロナ禍のため、府民総体予選会は3競技しか実施がされず、参加市民数は減少しています。(順位付は無しとなっています。)ただ、市町村対抗競技大会の代替事業として「市町村交流種目大会」が開催され、7種目に選手を派遣するなど積極的な活動は続けられています。 ・(公財)長岡京市スポーツ協会に対し、補助金の交付及び活動支援を行いました。 ・スポーツ協会等とも連携しながら、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、可能な限り、事業の実施や代替事業等にも取り組み、中止になる際にも開催に向けて最大限の検討を行いました。
	課題等	・コロナ禍だからこそ、市民がスポーツに安心安全で参加活動ができるよう、「新たなスポーツ様式」の展開を検討する必要があります。		

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1: 計画通りに進めることが適当 対応策等 ・「幼児元気アップ推進事業」を市民に認知してもらえるように、総合型地域スポーツクラブと長岡京市スポーツ協会と連携し、実施校区を増やしていきます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 80
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課
	スポーツ施設環境の整備	会計	款	項	目	42,078,116	文化・スポーツ 振興室
		一般	8	4	6		
		一般	10	5	2	14,762,023	
	事業の概要						
多くの市民が利用する体育館など、運動・スポーツ施設の環境を改善するため施設整備を進めます。							

令和2年度の取組						
D (取組)	指標	体育館等施設利用者数(西山公園体育館・スポーツセンター)				単位 人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1 2
	239,289 (平成26年度)	目標	252,500	255,000	257,500	260,000 262,500
		実績	207,930	256,477	281,407	268,232 160,415
	- 施設の老朽化が進むなか、設備・備品の修繕や更新を適宜実施し、施設の維持管理に努めました。 - スポーツセンターについては、利用者(団体・個人)やスポーツ団体にアンケート調査を実施し、施設管理や今後の施設のあり方などについての情報収集を行いました。(有効回答数281件) - 指定管理者である(公財)長岡京市スポーツ協会との懇談会を実施するなど、今後の施設整備等について検討を行いました。				西山公園体育館 大体育室防球ネット修繕 	

施策の「5年後の目標」に対する評価						
令和2年度の達成状況						
C（評価）	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		—		—		—
	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	・コロナ禍のなか、西山公園体育館もスポーツセンターも、緊急事態宣言により施設利用が休止となった期間があったため（4～5月休館・1～2月夜間利用停止）、利用者数が目標値の約60%となっていますが、休館や夜間利用停止期間を除くと目標値の80%に近づきます。 ・西山公園体育館は大体育室の防球ネット昇降装置に不具合が発生したため修繕を行いました。 ・スポーツセンターは多目的トイレ修繕及び男女トイレ手洗器修繕を実施しました。 ・スポーツセンターについて、利用者アンケートの調査結果や（公財）長岡京市スポーツ協会との懇談会等の意見を参考にスポーツセンターに係る個別施設計画に反映させました。		
	課題等	・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、市民がスポーツに安心安全で参加活動ができるよう、「新たなスポーツ様式」での展開を検討していく必要があります。 ・スポーツセンターの建て替えについては、当初想定していた状況が変わりつつあることから、施設の整備について再度検討を行っていく必要があります。				

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1:計画通りに進めることが適当	・令和2年度末に策定したスポーツセンター個別施設計画に基づき、当面の10年程度は耐震化等を含む現行施設の維持管理を行いつつ、長期的には施設のあり方を整理していく必要があります。